

令和5年1月発行

箕沢地域ケアプラザの合言葉

瓦版



みんなのびのび
サポートの輪



No.64

発行 横浜市箕沢地域ケアプラザ
横浜市中区箕沢13-204
Tel 045-663-6960
発行責任者 渡邊 圭子
HP: <https://www.ysjk.jp/minosawa/>

新年のごあいさつ



第6地区連合町内会会長 守屋 孝



第六地区にお住いの皆様、新年明けましておめでとうございます。
今年も皆様にとってこの町で健康で安心して暮らせますように心よりお祈り申し上げます。
昨年度は12月に箕沢ケアプラザ創立20周年を迎えられ、まことにおめでとうございます。
お付き合いが始まった当初から、職員の方々の地域を思う気持ちにはいつも感服しております。
これからも、地域の住民に親しまれてきた家族的な良さも失うことなく、ますます発展してほしいと願っています。
町内会としましても、コロナ禍の元皆様のアイデアとチャレンジで、運動会、防災訓練を実施することが出来ました。ご協力ありがとうございました。今年度も引き続き経験したこともない状況が続きますが、皆様と支え合い元気と魅力にあふれる町づくりを目指す所存であります。
行き届かぬ所もありますが、ご支援を賜りますようお願い致します。
本年も宜しくお願い申し上げます。



横浜市箕沢地域ケアプラザ所長 渡邊 圭子



新年あけましておめでとうございます。
日頃から、事業運営にご理解、ご協力をいただきまして誠に有難うございます。
2002年12月1日、横浜市箕沢地域ケアプラザは、中區で5番目の地域ケアプラザとして誕生しました。赤ちゃんから高齢者まで、誰もが互いに支え合い、暮らしやすい地域づくりを目指してきた20年。開所当時から現在に至るまで、たくさんの地域の皆様や関係機関の方々からお力をいただきながら運営してまいりました。
昨年11月、山元小学校の生徒さんが創作してくださったマスコットキャラクターと、山元健康体操を「みのくんさわちゃんデー」(略称みのさわデー)でご紹介いたしました。コロナ禍の中、大勢をお招きしてのお披露目はできませんでしたが、自治会町内会の会長方や校長先生、関係者が見守ってくださる中で子ども達に発表いただきました。
これからも地域の皆様と共に「第4期中区地域福祉保健計画(中なかいいネ!)」に取組み、福祉・保健で困った時に、気軽にご相談いただける地域の身近な福祉拠点としての役割を果たし、交流の輪を繋いでいけるよう、皆様からの変わらぬご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。
皆様が健康で活躍されることを祈念し、新春のご挨拶とさせていただきます。 令和5年 元旦



第6地区社協だより

新年1月～3月の行事日程

ふれあいサロン

日程	1月 5日 (木)	時間	午前 10:00 ~ 11:30
	1月19日 (木)	場所	山元小コミュニティハウス
	2月 2日 (木)	参加費	¥100
	2月16日 (木)		
	3月 2日 (木)		
	3月16日 (木)		



※状況により中止・変更
場合があります。
地域の掲示板もご確認ください。

根岸山手の丘の走馬灯 ~ その8 ~

(郷土史家 棚橋 誠)

「地蔵坂上にコーヒーハウスがあった」

幕末の頃に、現在ではここに店があったとは思えない地蔵坂上にコーヒーハウスが開業していました。その場所は山手居留地からも地蔵坂からも桜道からも、そして根岸競馬場へと通じる道路として、遊歩道沿いでは外国人がよく往来する交差点で、地蔵坂を登り切った左側正面にありました。昔も今と同じように散歩をしながら「ちょっとコーヒーでも飲もうか」と言いたくなる場所であったのではないのでしょうか。

この地蔵坂上のコーヒーハウスは1865年9月(慶応元年)のジャパンパンチのポンチ絵にコーヒーハウスが載っていて、地蔵坂から山元町・根岸・本牧・北方・麦田から桜道を上って地蔵坂上へと周回する遊歩道の開通したのが同じ慶応元年ですので、それに合わせて開業していたと思われます。ポンチ絵の中央建屋の看板には「COFFEE」と書かれています。コーヒーハウスの前の道には誇張表現もあるとは思いますが行きかう人が多く描かれていて、結構このコーヒーハウスも流行っていたのでしょう。この場所を通称「コーヒーハウスヒル」とも呼ばれていたそうです。建屋の左側には富士山と思われる山が描かれています。明治17年には地蔵坂を登った右前辺りから現在の打越橋手前までを富士見町という地名になっていくくらいですから、当時はここからは富士山が良く見えたのだと思います。



1865(慶応元年)地蔵坂上のコーヒーハウス(「横浜もののはじめ考」より)

現佐の地蔵坂上の山手町225番辺り(令和4年4月20日撮影)

地域包括支援センター

健康づくりサポーターが誕生しました!

中区では毎年健康づくりサポーターを養成しています。

今年度は箕沢地域ケアプラザでもサポーター養成講座を2日間開催させて頂き、12名の「健康づくりサポーター」さんが誕生いたしました。今後は地域で行う体力測定会や研修、サポーターの定例会などでご活躍いただく予定です。サポーターさんと協力しながら地域にお住まいの高齢者の健康をサポートしていきます!また、今後もサポーターさんを男女問わず募集しておりますので、ご興味がある方は田嶋までご連絡下さい。

健康づくりサポーターとは...

いつまでも自立した生活が送れるように高齢者の健康づくりのお手伝いをするなど介護予防を推進していくボランティアさんです。



サポーター養成講座終了後、1期生誕生の記念撮影!

地域活動交流

暮らしを守る!

みのくんさわちゃんデー 開催しました



昨年度、横浜市立山元小学校2年生のまち探検の授業がきっかけで、ケアプラザとの交流が始まりました。ケアプラザの役割や機能を一緒に勉強していく中で『町の人のためにになりたい』『困っている人がいたら助けてほしい』という感想をたくさんもらいました。そんな中、箕沢ケアプラザプロジェクトが立ち上がり、もっとたくさんの人にケアプラザを知ってもらうため『マスコットキャラクター』の作成、地域の人に元気になってもらうために『山元けんこう体操動画』を作成してくれました。



令和4年11月5日に、マスコットキャラクター【みのくんさわちゃん】と体操動画を皆さんに紹介するため、みのくんさわちゃんデーを開催しました。当日は、作成に関わってくれた子どもたちに来てもらい、キャラクターのストーリーや、作り方、また、体操のポイントなどを教えてもらいました。

第6地区町内会長、校長先生、担任の先生、民生委員の方や父兄の皆さんと幅広い世代の方にご参加いただきました。参加者全員と一緒に体操やゲームをし、体も心もぼかぼかと温まりました。3年生にはこれからも町のために活躍してもらいたいので、ケアプラザ親善大使に任命しました!

もっとみんなの中なかいいネ!(中区地域福祉保健計画)第4期も2年目に入りました。



今回の取り組みがあったように、相手の気持ちに寄り添える子どもたちに山元の町は支えられていきます。キラキラと輝く子どもたちを中心に縁を結び、地域の皆さんと協力し、安心して暮らせる町づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

頂いたマスコットをケアプラザに展示しています。写真撮影ができます。ぜひ、お立ち寄りください。



生活支援コーディネーター

元!やんぐ会 段ボールでDIY!



元!やんぐ会では段ボールでクリスマスツリーづくりに挑戦しました。

「ケアプラザに来るお子さんやデイサービスに来る利用者さんに楽しんで頂けたらいいよね」と元!やんぐ会メンバーの提案で作成を始めました。色付け(貼り絵)は慣れない作業に苦戦しつつも、音楽をかけ、お話ししながら楽しく行いました。また、デイサービスの利用者さんにもお手伝いいただき、とっても素敵なクリスマスツリーが完成しました。

温かい想いがこもったクリスマスツリーで12月はみなさんをお出迎えすることができ、来館されたみなさんにも喜んでいただけました。



デイサービスご利用者さまにお手伝いいただきました!

デイサービス

～たくさんのぶどう(作品)が実りました！！～



デイサービスのドアを開けると、まるでぶどう農園…。ご利用者様と一緒に、クラフト工作で「巨峰」や「マスカット」のような大きな粒のぶどうの房とたくさんの葉っぱを作りました。

装飾した場所は、デイルーム入口の機能訓練スペースで、平行棒での歩行訓練や機能訓練、ストレッチ等を行うところです。

訓練中に天井を見上げると、たくさんの美味しそうなおぶどうが実っており、同時にぶどう狩りの雰囲気を感じておられる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

壁にはワイン城の王様と執事がワインを楽しんでいる風景があり、「可愛いね～。月間デイに応募しよう！！」と、力作になりました。



チェックポイント①到達

活動の3分間ウォーキングにて、第1チェックポイントの『箱根』を通過しました！！

次の目的地は静岡県『伊東温泉』。(約65km)皆さんと行脚し、日本一周のウォーキングを目指します。

コロナ第8波の不安もありますが、交流の機会が少しずつ増えてきており嬉しく思います。

感染症対策を徹底しながら、楽しく過ごしていただけるように工夫してまいります。

皆さんにとって、健やかな新年になりますように。

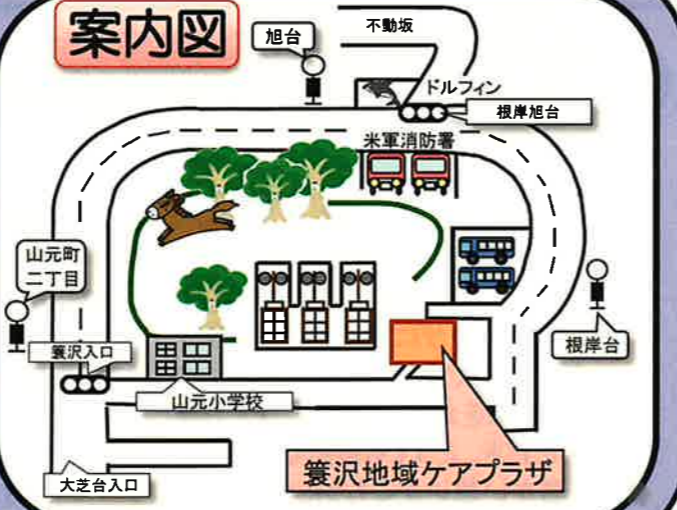
交通のご案内

- 市営バス 103系統：根岸台バス停下車 徒歩約3分
21系統：旭台バス停下車 徒歩約10分
山元町2丁目下車 徒歩約12分

お問合せ・連絡先

TEL 045-663-6960 FAX 045-228-1828
〒231-0856 中区箕沢13-204
横浜市箕沢地域ケアプラザ

案内図



求人募集中

デイサービス ①介護スタッフ ②機能訓練指導員

【勤務時間】 ① 8:30～17:30(8時間) / 9:00～13:00(4時間)

②13:30～16:30(3時間) 週3日～ ※要資格

【時給】 ①1,212円～

②1,600円～ ※その他、手当・加算あり



送迎ドライバー 募集中！ ～詳細はお問い合わせください～

(☎ 663-6960 渡邊)

令和5年1月発行

瓦版



箕沢地域ケアプラザの合言葉

みんなのびのび
サポートの輪

発行 横浜市箕沢地域ケアプラザ
横浜市中央区箕沢13-204
TEL 045-663-6960
発行責任者 渡邊 圭子
HP: <https://www.ysjk.jp/minosawa/>

No.64

新年のごあいさつ

第6地区連合町内会会長 守屋 孝



第六地区にお住いの皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年も皆様にとってこの町で健康で安心して暮らせますように心よりお祈り申し上げます。

昨年度は12月に箕沢ケアプラザ創立20周年を迎えられ、まことにおめでとうございます。

お付き合いが始まった当初から、職員の方々の地域を思う気持ちにはいつも感服しております。これからも、地域の住民に親しまれてきた家族的な良さも失うことなく、ますます発展してほしいと願っています。

町内会としても、コロナ禍の元皆様のアイデアとチャレンジで、運動会、防災訓練を実施することが出来ました。ご協力ありがとうございました。今年度も引き続き経験したこともない状況が続きますが、皆様と支え合い元気と魅力にあふれる町づくりを目指す所存であります。

行き届かぬ所もありますが、ご支援を賜りますようお願い致します。

本年も宜しく願い申し上げます。



横浜市箕沢地域ケアプラザ所長 渡邊 圭子

新年あけましておめでとうございます。

日頃から、事業運営にご理解、ご協力をいただきまして誠に有難うございます。

2002年12月1日、横浜市箕沢地域ケアプラザは、中区で5番目の地域ケアプラザとして誕生しました。赤ちゃんから高齢者まで、誰もが互いに支え合い、暮らしやすい地域づくりを目指してきた20年。開所当時から現在に至るまで、たくさんの地域の皆様や関係機関の方々からお力をいただきながら運営してまいりました。

昨年11月、山元小学校の生徒さんが創作してくださったマスコットキャラクターと、山元健康体操を「みのくんさわちゃんデー」(略称みのさわデー)でご紹介いたしました。コロナ禍の中、大勢をお招きしてお披露目はできませんでしたが、自治会町内会の会長方や校長先生、関係者が見守ってくださる中で子ども達に発表いただきました。

これからも地域の皆様と共に「第4期中区地域福祉保健計画(中なかいいネ!)」に取組み、福祉・保健で困った時に、気軽にご相談いただける地域の身近な福祉拠点としての役割を果たし、交流の輪を繋いでいけるよう、皆様からの変わらぬご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。皆様が健康で活躍されることを祈念し、新春のご挨拶とさせていただきます。 令和5年 元旦



第6地区社協だより

新年1月～3月の行事日程

ふれあいサロン

日程	時間	場所	参加費
1月 5日(木)	午前 10:00～11:30	山元小コミュニティハウス	¥100
1月19日(木)			
2月 2日(木)			
2月16日(木)			
3月 2日(木)			
3月16日(木)			

※状況により中止・変更の場合があります。地域の掲示板もご確認ください。